

IHR（国際保健規則）に基づく我が国の連絡窓口（NFP: National Focal Point）  
の平成 24 年度～平成 25 年度の活動内容について

○ WHO との間の情報共有

イベント発生情報（EIS）ウェブサイトに掲載された情報については随時国内関係者に伝達するほか、以下の報告を WHO に対して行った。

- ・ 平成 25 年 12 月 26 日、日本国内におけるオキシエリート製品（米国製サプリメント）による急性肝炎疑い患者の発生を WHO に報告。12 月 31 日に EIS に掲載された。
- ・ 平成 26 年 1 月 10 日、2 例目の急性肝炎疑い患者の発生を報告。1 月 17 日に EIS に掲載された。

○ 他の IHR 参加国連絡窓口（NFP）との間の個別情報交換

- ・ 結核、麻疹等の感染症患者および接触者の国際渡航等に関し、十数件の情報交換を実施。

○ APSED 会合への出席

2005 年の IHR 改訂を受けて、IHR のコアとなる対応能力を達成するために WHO 西太平洋地域事務局（WPRO）加盟諸国のロードマップとして、アジア太平洋・新興感染症対処戦略（APSED : Asia Pacific Strategy for Emerging Diseases）を作成。その後、パンデミック・インフルエンザの知見を踏まえ、2010 年 10 月に改訂。各国はこれに対応する行動計画の作成と実施を行っているところである。

- ・ 平成 24 年 7 月 10 日～12 日（フィリピン・マニラ）、平成 25 年 7 月 16 日～18 日（ネパール・カトマンズ）に参加。国際保健規則（IHR）の国内連絡窓口（NFP）の担当者が出席し、各国および WPRO との意見交換を実施。

○ 訓練への参加

- ・ WPRO が、加盟国の連絡窓口（NFP）を対象として行った IHR コミュニケーション実施訓練“Exercise Crystal2012（平成 24 年 12 月 5 日）”、“Exercise Crystal2013（平成 25 年 12 月 4 日）”に参加。

以上